

日本農業経済学会 2018 年度北海道大学大会個別報告プログラム
Presentation Program The AESJ 2018 Annual Meeting

個別報告者への注意事項

- 1) 大会時に個別報告者用の受付窓口を設けます。大会参加手続きを行った後、自身の報告の前に必ず申請者(筆頭報告者)もしくは責任著者(特別セッションについては代表者のみ)はこの窓口にて所定の手続きをお願いします。大会第一日目から受付可能です。
- 2) 配布資料, 投影資料, ポスターはすべて申請した使用言語で作成してください。報告言語も同様です。
- 3) 口頭報告, 特別セッションのプレゼンテーションファイルの提出先は以下のアドレスとなります。([at]を@に置き換えてください)

[oral\[at\]aesjapan.sakura.ne.jp](mailto:oral[at]aesjapan.sakura.ne.jp)

受付期日: 5 月 16 日水曜日まで

ファイル形式は PDF ファイルのみの受付となります。ファイルを受け付けた報告については学会 HP 上でご案内します。なお, 当日のファイルの差し替えや新規提出はお受けしておりません。

- 4) ポスター報告の方は当日午前 9 時から 10 時の間でポスターの掲示を行ってください。

Notice

Dear applicants of oral/poster presentation

The office asks your registration for presentation at our secretariat desk in the meeting. After the procedures of your entry in meeting, the applicant or corresponding author is required to visit this secretariat desk before your presentation. It will be available on 26th and 27th, May.

To applicant of oral presentation

Your presentation file (in PDF format only) must be submitted to the address below.

(Please use @ for [at])

[oral\[at\]aesjapan.sakura.ne.jp](mailto:oral[at]aesjapan.sakura.ne.jp)

Due date: May 16th, 2018 (Wednesday)

You can confirm our acceptance of your presentation file at our website.

Note that any submission and change of presentation file at the venue is not allowable.

To applicant of poster presentation

Your poster must be put up on the board/place during 9:00-10:00 on 27th, May.

日本農業経済学会 2018年度大会 個別報告(口頭報告)プログラム

Oral Presentation Schedule, 2018 AESJ annual meeting

(2018年5月27日 北海道大学 高等教育推進機構)

(at Hokkaido University, Institute for the Advancement of Higher Education on May 27th, 2018)

第1会場 E202 教室 午前の部(AM) 9:00-11:30 午後の部(PM) 13:30-16:00
Venue 1 Room E202

時間割 Time		座長 Chair-person	報告課題・報告者 (*印はコレスポンディング・オーサー) Title, Authors (*: CA)
午前	1	橋口 卓也 (明治大学)	販売目的の農業生産等を行う組織経営体の企業形態 — 農林業センサス個票からの労働力指標による類型区分の試み— * 小野 智昭 (農林水産政策研究所)
	2		労働力の種類別にみた経営部門の特徴と変化要因 — 農業センサスの農業投下労働日数を用いて— * 松久 勉 (農林水産政策研究所)
	3	徳田 博美 (三重大学)	過疎地域における臨時農業労働力確保の取組と課題 — 愛媛県みかん産地を事例に— * 曲木 若葉 (農林水産政策研究所)
	4		農村ワーキングホリデーが農業新規参入に与える効果 * 鈴木 源太郎 (東京農業大学)
	5	野見山 敏雄 (東京農工大学)	中山間地域における直売型地場流通サービスが生産者に与える影響について — 野菜ネット販売業「まごやさい」の生産者アンケート調査結果から— * 大坪 史人 (広島大学大学院) 細野 賢治 (広島大学大学院)
	6		需要サイドからみた農村コミュニティビジネスの存立条件 — 野菜ネット販売業「まごやさい」の販売先アンケート調査結果から— * 細野 賢治 (広島大学) 大坪 史人 (広島大学大学院生物圏科学研究科)
午後	7	伊藤 房雄 (東北大学)	北海道における農協の個選共販による野菜流通構造 * 申 鍊鐵 (北海道大学) 正木 卓 (弘前大学) 國本 英樹 (北海道大学)
	8		十勝農業における畑作物の作付選択要因に関する研究 * 河野 洋一 (帯広畜産大学) 後藤 聖奈 (JA十勝清水町) 志賀 永一 (帯広畜産大学)
	9	平林 光幸 (農林水産政策研究所)	北海道における大区画水田利用と農地集積による米生産費への影響の解明 * 山田 洋文 (北海道立総合研究機構 農業研究本部 中央農業試験場) 濱村 寿史 (北海道立総合研究機構 農業研究本部 根釧農業試験場)
	10		環境保全型農業直接支払の地域的活用の二類型 — 区分出荷と認証制度に着目して— * 桑原 考史 (日本獣医生命科学大学)
	11	宮入 隆 (北海学園大学)	ベトナムにおける外国人技能実習生送出しの実際と送出し機関の役割 — ハノイ市元国営・民営送出し機関のヒアリング調査— * 軍司 聖詞 (早稲田大学)
	12		外国人労働力導入の実態と課題 — 遠洋カツオー本釣りのケース— * 小野 洋 (日本大学) 松田 裕子 (三重大学) 泉谷 真実 (弘前大学)

日本農業経済学会 2018年度大会 個別報告(口頭報告)プログラム

Oral Presentation Schedule, 2018 AESJ annual meeting

(2018年5月27日 北海道大学 高等教育推進機構)

(at Hokkaido University, Institute for the Advancement of Higher Education on May 27th, 2018)

第2会場 E203 教室 午前の部(AM) 9:00-11:30 午後の部(PM) 13:30-16:00
Venue 2 Room E203

時間割 Time		座長 Chair-person	報告課題・報告者 (*印はコレスポンディング・オーサー) Title, Authors (*: CA)	
午前	1	9:00-9:25	佐藤 信 (北海学園)	
	2	9:25-9:50		学校給食への地場食材供給システムの形成と調理員の地場食材に対する評価 * 山田 浩子(愛知県立大学)
	3	9:50-10:15		食育研究の体系的レビュー -隣接学問分野の動向と農業経済学分野への示唆- * 上田 遥(京都大学)
	4	10:15-10:40	河野 恵信 (中央農業研究センター)	食事選択行動における規範—20歳台女性の仕事・健康と栄養観— * 新山 陽子(立命館大学) 大住 あづさ(立命館大学) 上田 遥(京都大学)
	5	10:40-11:05		菓子メーカーによる国産クリ調達の現状と課題 —岐阜県恵那市(株)恵那川上屋を事例に— * 高橋 みずき(明治大学)
	6	11:05-11:30	竹田 麻里 (東京大学)	食品製造業の規模別企業行動 —『法人企業統計』を用いた大規模・中小規模比較分析— * 小嶋 大造(京都大学) 豊田 宏樹(京都大学)
午後	7	13:30-13:55	中山間地域等直接支払制度の政策効果 -共同取組活動への配分が与える影響に着目して- * 武井 七海(京都大学農学研究科)	
	8	13:55-14:20		民間企業主催の農業体験が農業への興味や関心に与える影響 —ヤンマーミュージアム体験農園を事例として— * 小野島 晴子(京都大学大学院 農学研究科 生物資源経済学専攻)
	9	14:20-14:45	鈴村 源太郎 (東京農業大学)	環境保全型農業の推進に向けた既存制度の調整と融合 —くまもとグリーン農業を事例とした参加農家の地域特性— * 富吉 満之(久留米大学) 八木 信一(九州大学)
	10	14:45-15:10		薬用作物産地化の現状と方向性に関する一考察—奈良県を事例に— * 吉岡 徹(酪農学園大学) 吉野 宜彦(酪農学園大学)
	11	15:10-15:35	農福連携における地域との関係構築とその意義 —3団体の比較を通して— * 徳光善謙(茨城大学)	東アジアにおける食料品・飲料貿易の決定要因分析 —重力モデルで調整された貿易結合度(GMATI)指数を用いて— * 樋口 倫生(農林水産政策研究所) 井上 莊太郎(農林水産政策研究所) 伊藤 紀子(農林水産政策研究所)
	12	15:35-16:00		中国の果物輸出におけるSPS措置の影響分析 * 耿 爽(神戸大学大学院) * 草苺 仁(神戸大学大学院)

日本農業経済学会 2018年度大会 個別報告(口頭報告)プログラム

Oral Presentation Schedule, 2018 AESJ annual meeting

(2018年5月27日 北海道大学 高等教育推進機構)

(at Hokkaido University, Institute for the Advancement of Higher Education on May 27th, 2018)

第3会場 E204 教室 午前の部(AM) 9:00-11:30 午後の部(PM) 13:55-15:35
Venue 3 Room E204

時間割 Time		座長 Chair-person	報告課題・報告者 (*印はコレスポンディング・オーサー) Title, Authors (*: CA)
午前	1	9:00-9:25	安全性の指標としての国産性を「分解」するーベスト・ワースト・スケーリング Case3による接近ー * 佐藤 和夫 (酪農学園大学) 井川 岬 (酪農学園大学) 近藤 充 (酪農学園大学)
	2	9:25-9:50	エコラベルに関する消費者選好の多様性ー潜在クラスロジットモデルを用いた分析ー * 京井 尋佑 (京都大学) 藤野 正也 (山梨県富士山科学研究所) 栗山 浩一 (京都大学)
	3	9:50-10:15	ベスト・ワースト・スケーリングによる食料品原産国表示への中国人消費者の選好評価 安 可 (長崎大学大学院) * 吉田 謙太郎 (長崎大学大学院) 山本 充 (小樽商科大学大学院)
	4	10:15-10:40	多角化戦略と経営管理能力が農業経営の効率性に与える相乗効果ーイングランド都市近郊農業経営を対象とした計量分析ー * 吉田 真悟 (東京大学大学院) 八木 洋憲 (東京大学大学院) 木南 章 (東京大学大学院)
	5	10:40-11:05	外来生物法の下でのトマト生産者のセルフガバナンス意識 * 西村 武司 (山陽学園大学) 武藤 幸雄 (香川大学)
	6	11:05-11:30	搾乳ロボットの効率的利用に向けた牛群構成の検討 窪田 さと子 (帯広畜産大学) 松原 勢剛 (帯広畜産大学畜産科学課程) * 仙北谷 康 (帯広畜産大学) 金山 紀久 (帯広畜産大学) 齊藤 朋子 (帯広畜産大学)
午後	8	13:55-14:20	寄付つき電気料金プランを通じた農村地域への資金供給の可能性ーサンプルセレクションのあるグループデータ分析を用いた接近ー 楠戸 建 (九州大学) 高橋 義文 (九州大学) * 矢部 光保 (九州大学)
	9	14:20-14:45	訪日外国人における旅行満足と再来日の意向の規定要因ー『訪日外国人消費動向調査』の個票データを用いてー * 八木 浩平 (農林水産政策研究所) 菊島 良介 (農林水産政策研究所)
	10	14:45-15:10	露地野菜生産の効率性に関する研究ーねぎ生産を対象としてー * 鎌田 譲 (北海道大学)
	11	15:10-15:35	兼業は離農を抑制するのか、離農を促進するのかー間接効用関数を用いた離農・離村条件の確定ー * 北島 浩三 (名古屋大学大学院)

日本農業経済学会 2018年度大会 個別報告(口頭報告)プログラム

Oral Presentation Schedule, 2018 AESJ annual meeting

(2018年5月27日 北海道大学 高等教育推進機構)

(at Hokkaido University, Institute for the Advancement of Higher Education on May 27th, 2018)

第4会場 E205 教室 午前の部(AM) 9:00-11:30 午後の部(PM) 13:30-16:00
Venue 4 Room E205

時間割 Time		座長 Chair-person	報告課題・報告者 (*印はコレスポンディング・オーサー) Title, Authors (*: CA)
午前	1	西澤 栄一郎 (法政大学)	環境保全型農業政策に関する実験経済学的分析 —直接支払と非貨幣型支援の比較— * 栗山 浩一(京都大学 農学研究科) 中塚 耀介 藤野 正也(富士山科学研究所) 福富 雅夫(京都大学 農学研究科) 髙田 栄樹(京都大学 農学研究科)
	2		農業者による環境配慮行動の阻害要因と仲介者の役割—沖縄県における土壌流出対策を事例として— * 林 岳(農林水産政策研究所) 山本 充(小樽商科大学大学院)
	3		DIDを用いた多面的機能支払のプログラム評価 —政策効果の多面性・地域性に着目して— * 竹田 麻里(東京大学)
	4	橋詰 登 (農林水産政策研究所)	農業集落間格差の収束仮説に関する統計的検証 * 川島 滋和(宮城大学) 水木 麻人(東北大学大学院農学研究科) 伊藤 房雄(東北大学大学院農学研究科)
	5	小野 智昭 (農林水産政策研究所)	津波被災地における急速な農地集積の進展と課題 —宮城県七ヶ浜町の事例から— 幸田 和也(茨城大学) * 福与 徳文(茨城大学) 重岡 徹(農業・食品産業技術総合研究機構) 八木 洋憲(東京大学)
	6		農地集積過程における面的集積のための仲介と調整に関する考察 —岡山県興除地区における大規模個別農家の経営田を対象とした事例分析— * 井坂 友美(農林水産省)
午後	7	杉戸 克裕 (北海道農研センター)	千葉県酪農経営における離脱要因の因果構造分析 * 池尻 歩波(全国酪農協同組合連合会) 柴田 浩文(千葉大学) 栗原 伸一(千葉大学)
	8		北海道酪農経営の離脱要因分析 —2010・2015年農業センサス個票からの接近— * 栗原 伸一(千葉大学) 柴田 浩文(千葉大学) 加藤 恵里(千葉大学)
	9	國光 洋二 (農村工学研究所)	圃場整備事業の担い手への農地流動化促進効果 —京都府を対象として— * 武川 翼(京都大学)
	10	大浦 裕二 (東京農業大学)	単身世帯における食生活の外部依存 * 住本 雅洋(石川県立大学)
	11		主食の多様化局面におけるパンの需要動向 浅井 隆之(神戸大学) * 草苺 仁(神戸大学) 松田 敏信(鳥取大学)
	12		ジビエの消費行動の変化に関する分析—パネルデータを用いて— * 長尾 真弓(明治大学大学院) 廣政 幸生(明治大学) 中嶋 晋作(明治大学)

日本農業経済学会 2018年度大会 個別報告(口頭報告)プログラム

Oral Presentation Schedule, 2018 AESJ annual meeting

(2018年5月27日 北海道大学 高等教育推進機構)

(at Hokkaido University, Institute for the Advancement of Higher Education on May 27th, 2018)

第5会場 E206 教室 午前の部(AM) 9:00-11:30 午後の部(PM) 13:30-15:35
Venue 5 Room E206

時間割 Time		座長 Chair-person	報告課題・報告者 (*印はコレスポンディング・オーサー) Title, Authors (*: CA)
午前	1	9:00-9:25	齋藤 勝宏 (東京大学)
	2	9:25-9:50	
	3	9:50-10:15	住本 雅洋 (石川県立大学)
	4	10:15-10:40	
	5	10:40-11:05	小林 弘明 (千葉大学)
	6	11:05-11:30	
午後	7	13:30-13:55	松井 隆宏 (三重大学)
	8	13:55-14:20	小泉 達治 (農林水産政策研究所)
	9	14:20-14:45	加賀爪 優 (京都大学)
	10	14:45-15:10	
	11	15:10-15:35	

地球温暖化による日本の農産物の生産変動が地域経済に及ぼす影響分析
—8地域間CGEモデルを用いて—

* 沖山 充 (麗澤大学)
徳永 澄憲 (麗澤大学)

穀物の国際価格上昇が北海道・都府県農業に及ぼす影響

* 福田 洋介 (農林水産省)
近藤 巧 (北海道大学)

ヨーグルトの消費行動分析
—スキャナー・パネル・データによるアプローチ—

* 渡慶次 力生 (筑波大学)
氏家 清和 (筑波大学)

放射性物質による農産物の忌避に関する消費者の細分化—選択行動とモニタリ
ング検査に対する意識による接近—

* 半杭 真一 (東京農業大学)

日本の大豆作生産性の変化とその特徴
—北海道と都府県の規模別データによる解析—

* 小林 創平 (農業研機・本部)
國光 洋二 (農業研機・農村工学研究部門)

世界及び米国のバイオエタノール生産等が国際とうもろこし価格に与える影響

* 小泉 達治 (農林水産政策研究所)

中国における水産業の発展要因に関する実証分析—養殖漁業を中心に—

* 李 冠軍 (神戸大学大学院)
草苺 仁 (神戸大学大学院)

穀物における国際価格変動の要因分析

* 平田 和也 (神戸大学)
草苺 仁 (神戸大学)

農地中間管理事業が米作農地貸借市場に与えた影響

* 岡村 伊織 (神戸大学)
草苺 仁 (神戸大学農学研究科)

日本における農産物需要の推計-「ミクロ」と「マクロ」の代替の弾力性につ
いて-

* 佐藤 秀保 (東京大学)
齋藤 勝宏 (東京大学)

"食"産業の経済学

—市場経済の「均質財の量生産」と産業経済の「質多様性」—

* 米山 忠克 (東京大学名誉教授)

日本農業経済学会 2018年度大会 個別報告(口頭報告)プログラム

Oral Presentation Schedule, 2018 AESJ annual meeting

(2018年5月27日 北海道大学 高等教育推進機構)

(at Hokkaido University, Institute for the Advancement of Higher Education on May 27th, 2018)

第6会場 E215 教室 午前の部(AM) 9:00-11:30 午後の部(PM) 13:30-15:35
Venue 6 Room E215

時間割 Time		座長 Chair-person	報告課題・報告者 (*印はコレスポンディング・オーサー) Title, Authors (*: CA)	
午前	1	9:00-9:25	氏家 清和 (筑波大学)	
	2	9:25-9:50		Indonesian Consumer Preferences toward Mandarin Citrus * ZAINURI HANIF (Tokyo University of Agriculture and Technology) YAMAURA Koichi (Tokyo University of Agriculture and Technology)
	3	9:50-10:15		Urban consumers' perceptions of community supported agriculture attributes, attitudes and behavioral intentions: Evidence from China * Lei Dou (Shandong Normal University, China) Zongbin Zhang (Shandong Normal University, China) Xiuru Mu (Shandong Normal University, China) Jingjing Liu (Jinan Vocational College, China) Jian Liu
	4	10:15-10:40	下川 哲 (早稲田大学)	Concept of Halal, Is It Truly Safe & Hygiene or Is It only an Islamic Belief: Insights from Bangladesh * MD ARIFUR RAHMAN (Ritsumeikan University)
	5	10:40-11:05		家計の農業生産と栄養教育が補完食品の購買行動に与える影響 * 小此木 悟 (東京大学大学院) 櫻井 武司 (東京大学大学院)
	6	11:05-11:30		母親の非農業部門への就業が子どもの健康に与える影響 —カンボジア農村を事例としたパネルデータ分析— * 三輪 加奈 (釧路公立大学)
午後	7	13:30-13:55	浅見 淳之 (京都大学)	ベトナム農家の非農業労働が食料消費に与える影響—内生スイッチング回帰を用いた地域間比較— * 中村 亮太 (北海道大学) 近藤 巧 (北海道大学)
	8	13:55-14:20		エチオピア北部における共有地配分政策と社会規範 * 鬼木 俊次 (国際農林水産業研究センター) ベルハメラク (メケレ大学) ネガシュ テクライ (メケレ大学)
	9	14:20-14:45	山浦 紘一 (東京農工大学)	持続可能な発展と社会の構造変化：タイおよびベトナム調査からの考察 * 青柳みどり (Midori Aoyagi) (国立環境研究所 (National Institute for Environmental Studies)) Vu Quoc Huy (Institute of Regional Sustainable Development, Vietnamese Academy of Social Sciences)
	10	14:45-15:10		中国ライチ農場における販路の多様化と販売対応—中国広西省霊山県華山国有農場を事例として— * 何 梁棟 (北海道大学大学院農学院) 小松 知未 (北海道大学大学院農学院)
	11	15:10-15:35		Health Consciousness Effect on the Olive Oil Consumption in Japan: A Scanner Data Approach * Seifeddine Ben Taieb (University of Tsukuba) Kiyokazu Ujii (University of Tsukuba)
			Free-ride and prevention scheme to mitigation measure against CO2 emissions in rice production: Application of dynamic spatial computable general equilibrium model * Yoji Kunimitsu (National Agriculture and Food Research Organization)	

日本農業経済学会 2018年度大会 個別報告(口頭報告)プログラム

Oral Presentation Schedule, 2018 AESJ annual meeting

(2018年5月27日 北海道大学 高等教育推進機構)

(at Hokkaido University, Institute for the Advancement of Higher Education on May 27th, 2018)

第7会場 E216 教室

午前の部(AM) 9:00-11:05

午後の部(PM) 13:30-16:00

Venue 7 Room E216

時間割 Time		座長 Chair-person	報告課題・報告者 (*印はコレスポンディング・オーサー) Title, Authors (*: CA)	
午前	1	9:00-9:25	長南 史男 (元北海道大学)	
				Determinant Factors of Farmers' Willingness to Start Agritourism in Rural Nepal: An Application of the Multivariate Probit Model * Bhatta Kumar Prasad (Tokyo University of Agriculture) Keishiro Itagaki (Tokyo University of Agriculture) Yasuo Ohe (Chiba University)
	2	9:25-9:50	Household economy and its contribution to the livelihood among the farmers in Dang-Deukhuri, Nepal * Shree Kumar Maharjan (Hiroshima University) Keshav Lall Maharjan (Hiroshima University) Chuda Raj Giri (GIZ/INCLUDE, Nepal) Kabir Chitrakar (GIZ/INCLUDE, Nepal)	
	3	9:50-10:15	加治佐 敬 (青山学院大学)	
				Transferability of Green Revolution in Sub-Saharan Africa: Impact Assessment of Rice Production Technology Training in Northern Ghana * Xu He (The University of Tokyo) Takeshi Sakurai (the University of Tokyo)
4	10:15-10:40	Did Operation Barga Really Matter? A Synthetic Control Approach to Tenancy Reform and Agricultural Productivity in West Bengal, India * Takashi Kurosaki (Hitotsubashi University) Rasyad Parinduri (Nottingham University, Malaysia Campus) Saumik Paul (Asian Development Bank Institute)		
5	10:40-11:05	Does Integration of Rice Milling Processors Improve Quality of Rice? The Case of Nigeria * Shota Komatsu (Graduate School of Agriculture and Life Sciences, The University of Tokyo)		
午後	7	13:30-13:55	黒崎 卓 (一橋大学)	
				Credit Choice as Marketing Channel Choice: The Effect of Large-scale Miller on Rice Production in Senegal River Valley Yui Kawagoe (University of Tokyo) * Takeshi Sakurai (University of Tokyo)
	8	13:55-14:20		Rice Production Risk and Demand for Saline Water Insurance —In Ayeyawady Delta of Myanmar— GU Yan (The University of Tokyo) * Takeshi Sakurai (The University of Tokyo)
	9	14:20-14:45	BJP政権成立以前のインドにおける牛の屠殺規制と穀物生産 ——「州による牛屠殺規制の要旨」の分析—— * 戸石 七生 (東京大学) 草野 拓司 (農林水産政策研究所)	
	10	14:45-15:10	櫻井 武司 (東京大学)	
				Seasonality of Staple Food Prices in Ethiopia: Do institutions Matter? Solomon Bizuayehu Wassie (Kobe university; Bahirdar University, Ethiopia) * Hitoshi Kusakari (Kobe university) Masahiro Sumimoto (Ishikawa Prefectural University)
11	15:10-15:35	Estimating the Difference on Farm Income of Concession and Non-concession Farmers in Oudomxay Province, Lao PDR Sisomphone BOUDSENGGAM (Graduate School of Bio-resource and Bioenvironmental Science Kyushu University) * Teruaki NANSEKI (Faculty of Agriculture, Kyushu University) Yosuke CHOMEI (Faculty of Agriculture, Kyushu University)		
12	15:35-16:00	Herding Household Productivity in Mongolia: Effects of Desertification and Large Herd Size * Murakami Enerelt (JICA Research Institute)		

日本農業経済学会 2018年度大会 個別報告(口頭報告)プログラム

Oral Presentation Schedule, 2018 AESJ annual meeting

(2018年5月27日 北海道大学 高等教育推進機構)

(at Hokkaido University, Institute for the Advancement of Higher Education on May 27th, 2018)

第8会場 E217 教室 午前の部(AM) 9:00-11:30
Venue 8 Room E217

時間割 Time		座長 Chair-person	報告課題・報告者 (*印はコレスポンディング・オーサー) Title, Authors (*: CA)
午前	1	内山 智裕 (東京農業大学)	争点としての家族農業経営英継承：フランス農業構造政策の展開から * 須田 文明 (農林水産政策研究所)
	2		Analysis of the character and role of leaders of Farmers' Organizations in the Fresh Vegetable Supply Chain: A Case Study in West Bandung District, West Java Province, Indonesia Freddy (Hokkaido University) * Shunsuke YANAGIMURA (Research Faculty of Agriculture, Hokkaido University)
	3	工藤 春代 (大阪樟蔭女子大学)	地理的表示制度はどのように品質調整を支えているか —仏AOCテーブルオリーブLucques du Languedocに関する考察から— * 大住 あづさ (立命館大学 BKC社系研究機構)
	4		フランスにおける有機酪農・乳業フードシステムの現状に関する考察 * 植木 美希 (日本獣医生命科学大学)
	5		台湾のエンリッチドケージ卵高付加価値化の要因 —鶏卵流通と動物配慮生産との関係— * 大木 茂 (麻布大学)
	6	志賀 永一 (帯広畜産大学)	離農軽種馬生産農家の土地集約化と産地が抱える課題 * 松原 幸佑 (筑波大学) 納口 るり子 (筑波大学)